

令和4年度学校評価

珠洲市立正院小学校

(1) 前年度の課題に基づく今年度の取組目標

✿ 令和3年度最終報告における本校の課題

これまでの取り組みを継続しながら、以下の4点について
重点的に取り組む必要がある

- ◇基礎基本の定着と学んだことを活用する力をつける
- ◇自信を持って活動に取り組む姿を育てる
- ◇体力の向上をめざす→個に応じた体力の課題に取り組む
- ◇業務改善の推進→業務の効率化



✿ 令和4年度の重点取組目標

①確かな学力の育成（創造）

目標1 確かな知識・技能を身に付け、活用力を高める

②豊かな心の育成（自主）

目標2 相手を思いやり、自信をもって積極的に行動できる子を育てる

③健やかな体の育成（健康）

目標3 体力の向上をはかる

④業務改善

目標4 業務を見直し、効率化をはかる

(2) 目標達成のための取組 担当 (道下・石尾)

① 確かな学力を育てる (創造)

目標 1

確かな知識・技能を身に付け、活用力を高める。

取組	<ul style="list-style-type: none"> 授業の中に知識・技能の習熟を図る学習活動を取り入れる。 解法の手立て (ズバリ・お手本しずこ) を示す。 	
中間評価 A : 4クラス以上達成 B : 3クラス達成 C : 2クラス達成 D : 1クラス達成 達成クラスなし	評価指標	単元テスト (知識・技能) の正答率 (単元テストの全国平均をもとにした数値) 2年生…80% 3年生…75% 4年生…75% 5年生…70% 6年生…70%
A	取組の結果	1学期の単元テスト 知識・技能の正答率 2年生…95% 3年生…95% 4年生…86% 5年生…74% 6年生…85% 全クラス達成 <ul style="list-style-type: none"> 解法の手立てをもとに、自分の考えを持てるようになった。 授業の中で適用問題の時間が確保され、計算などの技能が身につけてきている。
最終評価に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 解法の手立て (ズバリ・お手本しずこ) を示す。 授業の中に知識・技能の習熟を図る学習活動を取り入れる。 学習した定義や用語を使いながら、自分の考えを表現する指導をする。 	
最終自己評価 A : 4クラス以上達成 B : 3クラス達成 C : 2クラス達成 D : 1クラス達成 達成クラスなし	評価指標	単元テスト (知識・技能) の正答率 <ul style="list-style-type: none"> 同一母集団の1学期の平均を-5%として算出 各学年の目標値 (0となる値) は下記の通り 2年生…90% 3年生…90% 4年生…81% 5年生…69% 6年生…80%
	取組の結果	
次年度へ向けて		
学校関係者評価 委員からのご意見等		

②豊かな心の育成（自主） 担当（石尾・川崎）

目標 2

相手を思いやり、自信をもって積極的に行動する子を育てる

<p>取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自信を深める手立てとして「めざす正院っ子」の活用 ・地域との交流活動やたてわり班活動での人間関係づくり ・人権についての学習 	
<p>中間評価 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><「めざす正院っ子」の達成率 > 各月の調査項目は以下の通り 4 月：授業の準備をする子 5 月：イスにしっかりすわる子 6 月：ていねいな字を書く子 7 月：時間いっぱいとりくむ子</p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p><「めざす正院っ子」の達成率 > 4 月：授業の準備をする子・・・97% 5 月：イスにしっかりすわる子・・・100% 6 月：ていねいな字を書く子・・・97% 7 月：時間いっぱいとりくむ子・・・100% 1 学期平均・・・98.5% 学習や生活の基盤を整えることによって、落ち着いて学習に臨めたり、意欲的な学校生活を送ったりすることにつながっている。今後も継続した指導・支援を行うことで、規律ある学習・生活の場を構築していく。</p>
<p>最終評価に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事などの取組を通して、たてわり班活動や地域との人間関係づくりの充実。（メッセージ・手紙などで感謝を伝え合う） ・人権についての学習や思いやり・感謝の心を育む取組（人権週間を通じて相手を思いやる心を育む） 	
<p>最終自己評価 A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><児童アンケートの肯定回答 > ○「おはよう」「こんにちは」「おやすみ」「ありがとう」など、家族や町の人、先生、友達にあいさつをしている。 ○友達に声をかけたり、進んで助けたりしている。</p>
	<p>取組の結果</p>	
<p>次年度へ向けて</p>		
<p>学校関係者評価 委員からのご意見等</p>		

③健やかな体の育成（健康） 担当（川崎・脇田）

目標3

体力の向上をはかる

取組	スポチャレいしかわの3種目に挑戦し、体力の向上を図る。 <1学期> 40mリレー <2学期> シャトルボール <3学期> 8の字跳び 以上の3つを中心に取り組む。	
中間評価 A：3クラスが達成 B：2クラスが達成 C：1クラスが達成 D：達成クラスなし	評価指標	40mリレーの標準記録「ブロンズ」を達成できる。 2年生 … 12.20秒 3・4年生 … 11.20秒 5・6年生 … 10.55秒 ※複式学級は2学年の記録の平均を標準と考える。
A	取組の結果	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年で目標を達成することができた。3・4年生については目標タイムを大幅に超えて、標準記録「シルバー」を達成することができた。 ・全学年で種目には取り組んでおり、体力の向上に努めているが、種目に取り組む頻度にばらつきがあるため、日常的に取り組むことができるように取り組みを継続していく。
最終評価に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・長休みや昼休みなどを活用して、スポチャレの種目に全校で取り組む時間を設ける。 ・体育館に記録を掲示し、取組状況がわかるようにする。 	
最終自己評価 A：3クラスが達成 B：2クラスが達成 C：1クラスが達成 D：達成クラスなし	評価指標	シャトルボール・8の字跳びの標準記録「ブロンズ」の達成 2年生 … シャトルボール80回、8の字跳び100回 3・4年生 … シャトルボール85回、8の字跳び155回 5・6年生 … シャトルボール90回、8の字跳び215回 ※複式学級は2学年の記録の平均を標準と考える。
	取組の結果	
次年度へ向けて		
学校関係者評価委員からのご意見等		

④業務改善 担当（仲谷・北野）

目標 4

業務を見直し、効率化をはかる

<p>取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で取り組む定時退校日（第3水曜日・最終金曜日）以外に、マイ定時退校日を月に2度以上設定し、達成率を可視化する。 ・校務支援システムへの移行をスムーズに行えるように、職員が積極的に使える環境づくりに努める。 ・計画的な業務の推進を図り、職員会議の回数を減らす。また、会議の終了時刻を明確に示したり、先を見通した提案を心掛けたりして、効率的な会議の運営を目指す。 	
<p>中間評価</p> <p>A：120%以上 B：100%以上 120%未満 C：80%以上 100%未満 D：80%未満</p>	<p>評価指標</p>	<p><定時退校日取組実施率></p>
<p>A</p>	<p>取組の結果</p>	<p>4月…129% 5月…183% 6月…129% 7月…175% 8月…125%</p> <p style="text-align: center;">➡</p> <p style="text-align: center;">4～8月…148.2%</p>
<p>最終評価に向けた取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間外の在校時間が月45時間を超過している教員の割合を減らす。（4～8月平均16.6%） ・最終退校時刻19時30分を必ず守るようにする。 	
<p>最終評価</p> <p>A：10%未満 B：10%以上 15%未満 C：15%以上 20%未満 D：20%以上</p>	<p>評価指標</p>	<p><時間外勤務が月45時間を超過している教員の割合></p>
	<p>取組の結果</p>	
<p>次年度へ向けて</p>		
<p>学校関係者評価委員からのご意見等</p>		